

# 農地・水・環境だよい

6月号 (第7回)

平成21年6月1日

## いしかわ農地・水・環境協議会

## ■シジミの生息状況把握 県央支部【しじみ会】

津幡町田屋区では、農業用水にシジミが大量に群生していることが分かり、シジミの生息環境を守る取り組みに力を入れています。地域住民、地元子供会の協力の下、シジミの生息状況について調査を行いました。

調査の結果、田屋区を流れる幅約1mの農業用水延長約150mにわたり、2cm前後のマジミが数千個生息していることがわかりました。(写真)

今後はシジミが生息する自然環境を守る活動を続け、町内外からたくさんの人々に見に来てもらえるシジミの名所を目指したいと思っております。



■地域の財産を後世に伝えたい 中能登支部【ちった川の里米浜会】

志賀町米浜地区は、県の絶滅危惧種に指定されているトミヨが生息する自然環境に恵まれた地域です。

「ちった川の里米浜会」では、地域の財産である自然環境を後世に伝えるため、次代を担う子ども達とトミヨ観察会や、地域住民の参加によるゴミ拾いなど、トミヨの生息域を中心とした農村環境向上活動に取り組んでいます。

今年で3年目を迎える春の観察会でも多くのトミヨが確認され、生息環境が良好な状態に保たれていくことがわかりました。

これまで田んぼへ来ることがなくトミヨを知らなかつた子ども達も、今では積極的に観察会に参加してくれるようになり、ゴミ拾いは青年会を中心となつて実施され、地域住民の環境保全意識が高まつてしまふ。

「ちった川の里米浜会」では、こうした活動を通じて地域住民の皆さんに農村環境の保全意識を高めてもらい、トミヨがいつまでも元気に住める地域を目指していきたいと思っています。



## ■施設の長寿命化について 奥能登支部【ぎゃりごクラブ】

輪島市門前町本市地内において、農業者等9名が参加して施設補修に取り組みました。

水路の長寿命化を図るため、目地詰めや水路の補修を行いました。(写真)

補修個所は点検活動で把握し、必要と思われる個所を決めました。

今後の補修作業は、出来るだけ多くの地域住民の参加を募って、共同で目地詰め等の補修等を行い、地区全体の施設を管理していきたいと思っています。



## ■水路・水門の点検と補修活動

### 南加賀支部【川北町農地・水資源保全組合（草深）】



草深地区の戸数は140戸(内耕作農家41戸)で、本事業該当農地面積は、90haです。若干の果樹地以外は水田であり、配水操作と用水の保全は極めて重要です。

用水の保全に関しては、水路・水門の点検と補修は重要なことから、更にこのことは、農地のみならず、集落における防災の面からも大切なことです。

基礎部分としての点検と機能診断は役員が行い、補修活動は親老会（老人会）が主に担当しています。

親老会の方々の多くは技術も確かで知識も豊富であることから、水路の除草や水門の保守、藻の除去、除礫などの活動に極めて積極的に取り組んでもらっています。(写真)

その他草深地区では児童の手による米作り体験や、水路法面保護植物の植栽地造成と800株の芝桜植栽、50mの景観植物（水仙）花壇の除草、農道の補修などの活動に参加した人数は、延べ560人（内児童は101人）で、延べ活動時間は880時間となりました。これらには、小学校PTA・女性協議会・むつみ会・生産組合などから、多くの方々の協力と参加を得られたことに感謝しています。

#### 【事務局からのお知らせ】

田植えの時期も終わり、各地の水田には低く飛ぶツバメの姿が見られます。農業に携っていない方や子どもたちにも、このような景色を見て触れて、本対策がますます広がっていくことを期待しております。各地域の活動紹介にご協力お願ひいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹

TEL : FAX 076-249-8191

E-mail : [ishikawa@shigenhozen.jp](mailto:ishikawa@shigenhozen.jp)